

風光



福祉予算削るな!福祉を金儲けにするな!

10月28日に開催された愛知県民集会。今年も「ハロウィン」をイメージして、会場にはカボチャ型の横断幕や、揃いのマント、とんがり帽子などが立ち並びました。街は小雨降る灰色模様でしたが、オレンジのジャックオーランタンや魔女の群れ、色とりどりの風船もあり、若宮公園の中はとも華やかで、賑やかな集会となりました。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽
 集会では、各団体・種別から、実態報告の発言がありました。中でも保険医協会の日下さんが発言した

10・28愛知県民集会



「福祉医療制度」の問題は、各領域に関わる重要な内容でした。福祉医療制度とは、子どもや障がい者、高齢者が自己負担無く医療が受けられるよう、補助している、全国で見てもトップクラスの制度です。

「愛知県はこの制度に1割の自己負担を持ちこむつもりです。負担増によって受診を控えることもおこります。これは人の命に関わる重大問題です。ご理解と署名へのご協力をお願いします」という発言に、大きな連帯の拍手が起こりました。

また、原発と福祉をテーマにした発言では、会場での空間放射線量が報告され、「この何十倍、何百倍の放射線量が福島では常時検出されています。そんな中保育園に通う子どもたちも、長い間外に出ることもできず、除染を繰り返すことで、最近になってやっと30分外で遊べるようになった。また、『口にすると危ない』からと、園庭にあつた『ぐみの木』を止むなく伐採した」など、当たり前の生活が崩されている現状が話されました。福祉と原発は相入れません。

その他、保育・学童保育・障がい児・障がい者・社会保障と税の一体改革に集約される、福祉切り捨ての実態を参加者みんなで共有することができました。

また、原発と福祉をテーマにした発言では、会場での空間放射線量が報告され、「この何十倍、何百倍の放射線量が福島では常時検出されています。そんな中保育園に通う子どもたちも、長い間外に出ることもできず、除染を繰り返すことで、最近になってやっと30分外で遊べるようになった。また、『口にすると危ない』からと、園庭にあつた『ぐみの木』を止むなく伐採した」など、当たり前の生活が崩されている現状が話されました。福祉と原発は相入れません。

その他、保育・学童保育・障がい児・障がい者・社会保障と税の一体改革に集約される、福祉切り捨ての実態を参加者みんなで共有することができました。

集会の最後にアピールを採択し、名古屋栄の街を「福祉予算削るな!福祉を金儲けにするな!」とシュプレヒコールを上げながら、パレードで沿道の人に訴えました。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽
 「集会に参加して、デモをして終わり」ではなく、この集会で学んだことを、一人でも多くの人に広げていきましょう。集会に参加できなかった人も一緒に、分会や支部の会議の冒頭で、集会パンフやアピールを読み合わせるなどして、情勢を共有することから始めましょう。

学んだことを広げながら、すでにはじまっている「福祉は権利」署名や保育・障がいの署名活動にもつなげていきましょう!

集会の最後にアピールを採択し、名古屋栄の街を「福祉予算削るな!福祉を金儲けにするな!」とシュプレヒコールを上げながら、パレードで沿道の人に訴えました。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽
 「集会に参加して、デモをして終わり」ではなく、この集会で学んだことを、一人でも多くの人に広げていきましょう。集会に参加できなかった人も一緒に、分会や支部の会議の冒頭で、集会パンフやアピールを読み合わせるなどして、情勢を共有することから始めましょう。

学んだことを広げながら、すでにはじまっている「福祉は権利」署名や保育・障がいの署名活動にもつなげていきましょう!



「風の首」
 おじいさん、おばあさん大集合!
 園庭で家族ごっこをしていたときに、「わたしおかあさん」「おれおにいさん。かいものいってくるわ」と自分が何になるのか話している子どもたち。するとある男の子が「おじいさんになる」と両手を後ろで組んで、腰を曲げては、ちよっとした段差に座りました。そして一言。「はー、こしがいたい。」と、思わず笑いそつになりましたが、こらえていると「わたしもおばあちゃんになる」と次々におじいさん、おばあさんの集団が出来上がり!全員腰を曲げては「こしがいたい」「はあーこしがいたいわ」のセリフばかり。そのまま腰を曲げて腰の痛いおじいさん、おばあさんの集団は部屋に戻っていったんです。

そしてそれから数日がたち、夕方遊戯室へ行き部屋に戻るときには、「おじいさんになってかえる」と初めにおじいさんになった子が言い始め、それがその場にいた子どもたちも一緒になつてとんでもない数のおじいさんおばあさんの集団になって部屋に戻っていったんです。このおじいさんおばあさんごっこはその後もちよいちよい出てきては、「おじいさんできょうそうね」と腰をまげたままのかけこや「ちよっとおかいもの園庭にある山に登ってたりととても面白い光景です。一緒に腰が痛くなるんですけどね...」

そんな子どもたちのごっこあそびが楽しいです。
 サンタモニカ

「原発いらんがね」秋の大行進（10月7日）に参加して



原発よりも大切なものがあります
故郷を、家族を、暮らしを失くした人の
気持ちに寄り添えば、あんな物は不要です
（石井真理子さん：社会館分會）

「原発いらんがね」秋の大行進 賛同人一覽より

長い年月をかけて培ってきた農地や漁場であったり、自分自身や大切な存在（家族・友人・犬・猫・牛等）の暮らしてあったり、その他の様々な形あるもの、無いものが放射能拡散により壊れて、それが元に戻るかどうかも分からなかったり、元に戻ることで体が叶わないような状況の中で生きるようになった方々のことは、想像するだけで胸が苦しいし、また自分が想像できる

ものもわずかばかりであるだろうことを思います。

10月7日、「脱原発の思いを共有する雑多な民で」と、TEAM「原発いらんがね」NAG OYAの主宰で集會とデモが行なわれました。この取り組みの「賛同者」一覽を見るだけでも、「雑多な民で」ということの一端が伺えます。

福保労の組合員も、僕が分かっただけでも、新瑞福祉会分會の神田さんや瀬口さん・ゆたか支

部の明石さん・西部医療センターくさのみ分會の岡村さん・めいほく分會の小林さん・委員長の安藤さん・書記局の藤原さんも歩いていました。「賛同者」一覽の中にも、組合員の名前をたくさん見ることが出来ます。

「多種多様であること」オープンであること

この日のデモは、ウクレレ未知&ザ・ピーサンズの未知さんや、サウンドシステムを積んだトラックの上でレゲエバンドのザ・ボンゴメンの方がMCをしていて、そのトラックの後ろを歩いていると、道行く人が交じってくる光景や、すれ違ひざまにトラックの上のMCとハイタッチしていく光景、外国の方が親指を立てて並行していく光景を目にすることができました。見ていて、とても嬉しくなる光景でした。



路上や公園や広場などで行なうデモや集會って、ふたつの意味があるかと思っています。周囲へのアピールと、そして参加者自身のエンパワメントと。

僕は長らく（？）、福保労の取り組みも含めて「社会運動」に関わってきっていますが、そこで行われるデモや集會を行なうことの意義は感じつつ、そのあり方については「ミットできないところもありました。」

「『皆さんもご参加下さい』と言っても、関係者でなければこのデモには交じってこないよなあ」といったことや、「このデモ、歩いていて楽しくはないよなあ」といったことを感じてきていました。（前者のところでは、デモのあり様と共に、受け手側の状況によるものもあるかとは思いますが。）

しかし今回のデモに限らず、脱原発のデモのいくつかに参加する中では、先に書いたような「道行く人がデモに何らかのコミットをする光景」を目にしてきたし、また自分自身もエンパワメントされることを感じられるものがありました。

それは、もつと8年前のニューヨークにて、核兵器廃絶を訴えるデモで世界各国から来た人達と歩いた時に感じたことと重なるものでした。海外では、デモ文化が根付いているということでもあるかと思うのですが、デモをする側のあり様も多種多様でしたし、また道行く人の受け取りようも「自然」に感じるものがありました。

多種多様であること。オープンであること。



「行動せずにはいられなかった」

そんなあり様のデモを、福島原発の事故以降に、名古屋でも作ってきたひとりの酒井未知さんと。今回もスタッフとして運営に携わり、また集會時のライブやデモ時のMCをされています。普段も、「あっぱい、いっばい、うっぱい、えっぱい、その次は？おっぱい！」「あちんこ、いちんこ、うちんこ、えちんこ、その次は？おちんこ！」といったエッジが立った歌を、ウクレレで弾き歌いされているミュージシャンです。

その未知さんに、「なぜ、脱原発の行動をしているのか」「方法論的なことは、どう考えてきているのか」ということをお訊きしました。メモを取れない状況だったので、僕の意識となりますが…。違っていたら、ごめんなさい…。

「原発は、今回のような事故が起きた時に手に負えない事態となることや、廃棄物の処理もできないことを見れば、未来に続けていくものではないことは明らかだと思う。」「その原発

を終わりにしたい、その原発が動かされるような狭義の意味での「利益」を上げることが優先される社会を変えたい。そういったことを思い、自分のライブで



（「サマータイム・ブルース」などを）歌ったりデモを行ったりしてきている。」「質問にあつたような、方法論的なことは意識していなくて、ただ行動せずにはいられなかった。とにかく、どうにかしたかった。」

「思いを具体的に」

「この日の夜、千葉の友人から「テレビに（榎本が）映ってたよ。」ってメールが来て、そのまま、「福島原発の事故が起きて、どうしようもできない現実があるのに、なんで大飯を再稼

【シリーズ・名物組合員】

春日井福祉会分会

中村英司さん&稲垣優二さん

分会で働く同期の男性保育士2人組を紹介します。

★中村英司

今年が副分会長で頑張っています。子どもたちにとっても人気があります。優しいだけでなく大胆に遊んでくれるところが子どもたちにとっては楽しそうです。



口数は少ないですが、率先して力仕事もしてくれて（そこが男前なんです）とっても助かっています。頼まれたことも快く引き受けてくれる「縁の下の力持ち」です！！
プライベートではボウリング大好きで、マイボール・マイシューズを持って大会に出場した

★稲垣優二

春日井福祉会で、男性保育士初の育児休暇を取得しました。組合活動好き♪労基法、経営・・・疑問は突き詰めて分析、他の組合員に解説してくれて（風貌も研究者タイプなんです（*、*））なくてはならない存在です。そして父として父母会でも保育運動を引っ張ってくれています。人見知り時期の子どもたちでさえ、すぐに仲良しになれるのは謎・・・特別なオーラでも放っているのしか思えない！



プライベートではわが子のためなら思い立ったらすぐ行動！子どもが機関車を見たいと言ったのを聞いて、大井川鉄道まで機関車を見に行きたそうです。父は強し！それとも子どもに甘し？

（文・大谷 由香里）

動したり大間の工事を再開したりできるんだろうね？」という話になりました。

「きっと選挙が怖くないんだよ。それでも、次の選挙でまた当選できると思ってるからじゃない？これまでも、消費税のことでもアメリカ軍の基地のことも他のことでも、それで生活が壊される人や「いやだ」と言う人の声に応えなくても選挙に勝ってきているからだ。」

最後に、賛同者一覧からの言葉をもう2つほど紹介させて頂き、この報告を終わります。

「同じあやまちを繰り返さないよう、原発に頼らない国にしたいです!!」

（角真菜実さん・めばえ保育園分会）

「何かが起こってからでは遅いということに気付くことがで



きたからこそ、次が無いようにしていくことが私たちの役目、役割だと思えます。原発はいりません!!」
（田中知弥子さん・なえしる保育園分会）

文榎本淳

名市大さくらんぼ分会

原発ゼロへ

11・11全国いっせい行動
名古屋デモ

11月11日（日）12：45集合
13：00デモ出発

場所：久屋大通公園・エンゼル広場
同日、全国各地で反原発の集会・デモが予定されています。みんな集まれ！

あすキャン

12月11日19：00

労働会館東館前集合

震災復興の思いと願いをこめて、被災地で作られたキャンドルに全国一斉に火を灯すとirikumiです。支援の一環として、一緒に参加してみませんか？

また2013/3/11にも行う予定です

正しく知ろう！

労働者・労働組合の基礎知識 ④

Q. 1年単位の変形労働時間制ってどんなものなの？

A. 現在、福祉・保育職場では「1ヶ月単位の変形労働時間制」を使い、「4週の変形労働時間制」を取っているところが多くあります。これは、4週を通じて平均したときに、1週間の労働時間が40時間に守られていれば労働基準法違反にならないという制度です。

「1年単位の変形労働時間制」は、1年のうち大変忙しい時期と暇なときがある職場で、1年間を通じて平均して週40時間を超えなければ良いとすることにして労働時間配分を行い、全体として労働時間短縮を促進するための制度です。

適用される期間が長いのでいろいろ規制があります。労働時間の制限は1日は10時間まで、1週間基本48時間まで、1年間で働いて良い労働日数は280日までです。そして、年間カレンダーで、休日を指定し、労働日はその日の労働時間を定めて労働基準監督署に提出しなければなりません。また、このカレンダーで特定された労働日及び労働日ごと

の労働時間を変更することはできません。ですから、急な体調不良などで休む職員がでて、休日指定になっていた職員が代わりにでるということは基本できないので、福祉・保育職場での運用は不向きでしょう。

また、「1ヶ月単位」でも「1年単位」でも、超勤の割増金は発生します。「1年単位」は残業が発生したときの分も1年で平均し、週40時間を超えなければいいと誤解されやすいのですが、そうではありません。年間カレンダーで、8時間を超える労働時間を定めた日はその時間を超えた時間、それ以外の日は8時間を超えた時間。1週間については40時間を超える労働時間を定めた週はその時間を超えた時間、それ以外の週は40時間を超えた時間。これらは、時間外労働となり割増賃金の対象となります。年間カレンダーで懇談会や職員会議まで組み込んで立てることができていなければ、通常のローテーション勤務からはみ出た会議時間は、8時間以上部分は割増賃金として支払わなければなりません。

「1年単位の変形労働時間制」は、年間カレンダーで定めた通りに運用することがこの制度の基本です。



実行委員会では、ひとり一人が活発に意見を出し合い、話し合うことで、自身の学びになっています。

労働組合講座 今年もみんなで学び合おう！

今年も12月15日に労働組合講座が開催されます。昨年は、実行委員のみなさんで、制度改革の動きや、制度が変わってきたことでの社会への影響を知り、大きく変わってきた福祉分野について資料を読みあわせるなど、学びながら進めてきました。当日もなんと52名もの参加があり、楽しい寸劇もあり、それぞれ大いに学び合うことができました。

さて、今年も8月から立ち上がった労働組合講座実行委員会では、毎回、各分会から多くの人が会議に参加し、「どんなことを学びたいか？」から始まり、「みんながいきいきと働き続けられるためにしていきたい！」「福祉分野のことを知って自分の知識にしていきたい！」という思いのもと、議論を重ねてきました。

まず、実行委員会では、みなで「働くこと」についての悩みを出し合いました。そこで、新人・中堅・ベテランでは、やはりそれぞれ悩みが違ってくるわが、悩みの原因は何だろうか？と中味を深めていく中で、時間外労働や安全衛生、休暇や休憩の取り方など労働の基礎に

ついて学んでいきたいということになりました。そして、「自分たちにはこんな権利がある」という学びから、要求につなげ、運動へと発展できたらいいなと考えています。

現在も実行委員会はもちろん進行中です。みなさんにとって、わかりやすく、楽しく、そして意義のある労働組合講座にしたいと考え、クイズや寸劇なども取り入れていく予定です。

忙しい時期ですが、忙しい時期だからこそ、みんなで学び明日への力にしていきたい。みなさんぜひ参加して下さい。文・山田純也・のぎく分会

労働組合講座

12月15日(日)

14:00~

17:00

労働会館本館
第4・5会議室
お待ちしております！

【編集後記】

今号で紹介した10・7や11・11と反原発の運動が盛り上がる中、大飯原発敷地内の活断層調査が行われています。「危険性は無い」という判断と確認で再稼働を決めたはずではないのか？「活断層の可能性がある」という点で前提条件が違うのだから、原発は即時停止すべきでしょう。

でも驚いた事に、活断層だと確定しても「原発停止には政治的判断が必要」ということで、実際に停められるかどうかは分からないそうです。また、原発立地の自治体では

「雇用が無くなるから、停止してほしくない」という意見もあります。

「働く場・生活の糧を奪うな」と労働者を盾にとられている気がしますが、実際は廃炉にすれば、撤去作業が必要で、そこで当面の雇用は確保できます。そして、その間に新しい産業を生み出すのが、国策として原発を推進してきた国の責任です。

「まずは原発をなくす」その方針からの具体化が必要だと思います。秋の夜長にキャンドルに灯をともし、もう一度「本当に何が大切か」を考えてほしいと思います。ハム太郎